



ニュース 15号

Information, Communications, and Attention-Related Empowerment Center for the Challenged
in Hokkaido 障害者のための情報と通信と人々の理解に関するエンパワーメントセンター北海道

難病医療研修会で

6月8日（土）札幌市立病院において「北海道内におけるコミュニケーション支援の現状」と題した研修会が開催されました。日本ALS協会北海道支部の支部長であり、患者でもある深瀬和文氏の講演があり、意思伝達機器を使って豊かな生活を送っている様子が語られました。また、介助者との「口文字」による流暢なコミュニケーションの見事さに、会場からどよめきの声が上がりました。

神経難病医らによるアンサンブル演奏もあり「故郷」を参加者全員で合唱しました。

iCareほっかいどうからは、佐藤美由紀の講演と機器展示をさせていただきました。講演では、これまでのiCareの活動の経過、機器の種類、制度のことなど、また「患者さん本人が何を望んでいるか」が機器導入には大切なこととお話しさせていただきました。

展示にもたくさんの方が集まって下さり、質問も多く、良い機会をいただきました。



第2回『学んでチャリティ』Facebookを使いこなそう！

Facebookを使っていて「あれっ？」と思うことはありませんか？ 昔の友人とつながりたいんだけど？と考えたことはありませんか？小さな疑問点を出し合って、もう少しだけFacebookを詳しく知る講座です。

日時：7月6日（土）午後2時～4時

会場：iCareほっかいどう事務所（南1西S I T Yビル6F）

会費：1500円（寄付金とさせていただきます）

詳細はチラシをメールまたはFAXしますのでご連絡先をお知らせください。

楽しく学んで、しっかりチャリティ。皆さんのご参加をお待ちしています。

2013年度委員会の開催

秋山助成事業による2013年度ネットワーク委員会が6月28日に開催されました。

マイトビーと口文字によるコミュニケーションを紹介くださった日本ALS協会北海道支部の深瀬和文氏。

中村記念病院の臨床工学士である神貴博氏はナースコールスイッチの作成を披露して下さいました。知識・技術・発想・心の4つが必要であるという視点から院内の取り組みをご紹介いただきました。

さらに、福島から札幌に避難されてきたALS患者の狭川優子氏は福島の絆を絶たれた寂しさを訴えられました。また「うつくしま介助サービス」という団体を立ち上げて狭川さんを支えておられる中手聖一氏からは、原発事故から札幌に自己避難するまでの経緯と、障害を持っておられる方の避難の困難さを教えていただきました。

どの発表も強く心に残るものでした。(写真は許可をいただいています)



札幌市助成金で

札幌市のさぽーとほっと基金から助成金をいただきました。キネクトというゲーム機を使って、あたかも空中にマウスがあるような動きをするOAKシステム。実際に患者さんが使えるのかどうか、どういう人にむいているのかなどを検証します。iCare ほっかいどうで初めて所有するノートパソコン(意志伝機器を除いてですが)が届きました。キネクトとソフトを購入し、まずは内部の勉強会、研修会、そして患者さんのところへ・・・ということになります。

最先端の技術に置いていかれないようにしなくては!



旭川研修会のご案内

日時： 8月24日(水) 午後1時30分～3時30分

会場： 藤田観光ワシントンホテル旭川「ラベンダー」(旭川市宮下通7丁目)

医療者の方、ボランティアの方を対象に旭川地方で初めて行う研修会です。皆様のご参加をお待ちしています。

特定非営利活動法人 iCare ほっかいどう

〒060-0061 札幌市中央区南1条西8丁目 SITY ビル 6F

T)011-222-4462 F)011-596-8794 jimu@icare-h.org <http://icare-h.org/>